

## データについて

集計期間：2020年4月1日～2021年3月31日

DPC導入の影響評価に係る調査に提出している、データ(様式1・様式4)を使用

### ○様式1(サマリーデータ)

入退院情報、病名情報等

※入院後24時間以内に死亡した患者、臓器移植は集計対象外。

### ○様式4

医療保険診療以外の診療の有無に係る情報

医科レセプトのみの患者

## 総括

### ①年齢階級別患者数

患者数は前年度から約1割増加。

### ③初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

大腸癌の初発患者の数が増えているが、定期的な化学療法等で複数回入院している為。

### ⑤診療科別主要手術別患者数等

前年度(2019年度)から整形外科の手術件数は1.6倍と増加している。

全体の手術件数も、前年度の1.3倍と増加している。

※DPCデータを用いている為、実際の手術件数とは異なります。

## ①年齢階級別退院患者数

### <定義>

・令和2年度に当院を退院された患者様（一般病棟に1回以上入院した患者様）の入院時年齢を10歳刻みで集計。

ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。

・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
患者数	-	-	-	16	15	74	149	230	156

当院は大分県内でも特に高齢化率の高い地域にあり、70歳以上の方が全体の約80%を占めています。

年代別では80歳代が最も多く、全体の約35%を占めています。

②診断群分類別患者数等(診療科別患者数上位5位まで)

DPC病院ではないため、Dファイルを未作成。

そのため作成困難。

### ③初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

#### <定義>

- ・5大癌(胃癌、大腸癌、乳癌、肺癌、肝癌)について、初発と再発に分けて患者数を表示。
- ・令和2年度に当院を退院された患者数(一般病棟に1回以上入院した患者様)を集計。  
ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。
- ・入退院を繰り返している場合は入院回数分を集計。
- ・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	-	1	8
大腸癌	-	-	15	-	-	-	1	7.8
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肺癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	8

※UICC病期分類「1」、癌取扱い規約「2」

#### ④成人市中肺炎の重症度別患者数等

##### <定義>

- ・令和2年度に当院を退院された患者様（一般病棟に1回以上入院した患者様）のうち、
    - 「入院の契機となった傷病名ICD」と「医療資源を最も投入した傷病名ICD」がどちらも「J13」～「J18\$」
    - 年齢が20歳以上
    - 「肺炎の重症度」が「5:市中肺炎」
- 上記3つの条件に該当する患者様を集計しています。
- ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。
- ・入退院を繰り返している場合は入院回数分を集計。
  - ・重症度分類は、A-DROPスコアを用い、軽症～超重症の4段階で表記。
  - ・患者数が10未満の場合は、-(ハイフン)で表示しています。

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	-	-	-
中等症	12	21.00	85.42
重症	-	-	-
超重症	-	-	-
不明	-	-	-

市中肺炎とは、通常の社会生活の中でかかる肺炎のことです。  
入院に至る患者様は、中等症が最も多くなっています。

## ⑤脳梗塞の患者数

### <定義>

- ・令和2年度に当院を退院された患者様（一般病棟に1回以上入院した患者様）のうち、「医療資源を最も投入した傷病名ICD」が「I63\$」の患者様の患者数数、平均在院日数、平均年齢、転院率（%）を集計。  
ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様は除きます。
- ・患者数が10未満の場合は、-（ハイフン）で表示しています。

	患者数	平均 在院日数	平均年齢	転院率
発症3日目	12	36.83	88.5	0%
その他	-	-	-	-

⑥診療科別主要手術別患者数等(診療科別症例数上位5位まで)

<定義>

・令和2年度に当院を退院された患者様(一般病棟に1回以上入院した患者様)の主たる手術(又は点数の高い手術)を集計。※1

ただし、入院後24時間以内に死亡退院した患者様、軽微な手術・臓器移植は除きます。

・診療科別の主要手術について、患者数、術前・術後の平均在院日数、転院率、平均年齢を集計。

・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)を記入しています。

※1: 同一入院期間に複数の手術を行っていても主たるもののみ集計しているため、実際の手術件数とは異なる場合があります。

内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K386	気管切開術	-	-	-	-	-
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)	-	-	-	-	-
K7461	痔瘻根治手術(単純なもの)	-	-	-	-	-

外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術(長径2cm未満)	38	0.47	1.11	0.00	72.26
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	27	3.30	10.63	0.00	76.33
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	21	0.62	4.67	0.00	84.14

整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K0461	骨折観血的手術(上腕または大腿)	26	5.19	54.12	0.00	88.19
K093	手根管開放手術	16	0.63	3.81	0.00	76.75
K0462	骨折観血的手術(前腕または下腿)	13	1.23	19.85	0.00	75.77

泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-

⑦その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

<定義>

- ・令和2年度に当院を退院された患者様(一般病棟に入院した患者様)のうち、
  - 「医療資源を最も投入した傷病名」が「播種性血管内凝固症候群」、「敗血症」、「その他の真菌感染症」、「手術・処置等の合併症」の場合、「入院の契機となった傷病名」と同一か異なるかを区別して症例数を集計。
- ・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)を記入しています。

傷病名	入院契機	症例数	発生率(%)
播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
	異なる	-	-
敗血症	同一	-	-
	異なる	-	-
その他の真菌感染症	同一	-	-
	異なる	-	-
手術・処置等の合併症	同一	-	-
	異なる	-	-